

# 自己実現

題字 自己実現 指揮 松山市立小野小教頭 船岡 良雄 解説は3面



## 後から来る人たちのために

認定NPO法人国際地雷処理・  
地域復興支援の会 (IMCCD)

(理)現地代表 高山良二

こんにちは。愛媛県の教育の現場で日々奔走されておられる関係者の皆様に感謝を申し上げます。愛媛文教月報に寄稿のご縁を頂き、有難うございます。

私は、現在一年の大半をカンボジアの地雷原の村で過ごし、地雷や不発弾を処理しながら、地域の復興支援に携わりカンボジアの自立復興に繋がる活動をしています。20年近くカンボジアで活動しているうちに、見えてきたのが「日本への憂慮」です。ストレートに言えば、日本には「日本民族としての土台がなくなっている」。そして、日本人には「日本人としての背骨がなくなっている」という

ことです。もちろん、全ての日本人がそうであるということがでないと私はそう感じています。私は、活動を通じて海外の方との交流の機会があり、信頼する外国人もいます。アメリカの国際戦略を専門にしている私の友人が次のように言いました。「高山さん、あなたの国は70数年前に私の国アメリカによってセット(GHQ占領政策のこと)されました。早くセットから脱却をしてあなたの国の素晴らしい歴史や伝統、文化を再構築し、あなたの国の人々の幸せや誇りを大切にしてください。国際社会の安定に貢献できる民族はあなたの国なのです」

（たかやま・りょうじ）  
1947年 愛媛県出身  
1956年、陸上自衛官として勤務  
1992～93年 カンボジアPKOに赴任  
2002年5月 定年退官と同時にNPOとしてカンボジアに渡り、以来約20年間、地雷・不発弾処理と地域復興支援に奔走している。  
地球倫理推進賞 文部科学大臣賞(2)  
016年他 多数受賞

発行所  
(公財)愛媛県教育会  
〒790-8545  
松山市祝町1丁目5-33  
エスボワール愛媛文教会館内  
電話 (089)945-8644  
FAX (089)945-1459  
E-mail info@ehime-kyouikukai.jp

(8) ふるさとスケッチ  
(6) (4) (2) 学校紹介 三机小学校  
(7) (5) 特集「心に残る先生子ども学校」  
研究大会愛媛大会を終えて  
(6) (7) 第51回全国小学校国語教育

と。また、オーストラリアのスポーツ観光大臣のアンドリュー・トムソン氏も産経新聞社の「正論」2021年6月号で「目覚めよ！日本！」豪州からのメッセージ」と題して執筆されています。更に、氏は、著書「世界の未来は日本にかかる」と題されました。この本を出版された理由は、日本人の歴史の悲観論にうんざりするようになつたこと。なぜ、この新しい世纪に日本を再び「普通の国」にすることに対し頑固な抵抗があるのかと自問されたことがあります。そして、このことではないと思いませんが、総じて私はそう感じています。

私は、活動を通じて海外の方との交流の機会があり、信頼する外国人もいます。アメリカの国際戦略を専門にしている私の友人が次のように言いました。「高山さん、あなたの国は70数年前に私の国アメリカによってセット(GHQ占領政策のこと)されましたが、早くセットから脱却をしてあなたの国の人々の幸せや誇りを大切にしてください。国際社会の安定に貢献できる民族はあなたの国なのです」

日本人がそうであるということがでないと私はそう感じています。私は、活動を通じて海外の方との交流の機会があり、信頼する外国人もいます。アメリカの国際戦略を専門にしている私の友人が次のように言いました。「高山さん、あなたの国は70数年前に私の国アメリカによってセット(GHQ占領政策のこと)されましたが、早くセットから脱却をしてあなたの国の人々の幸せや誇りを大切にしてください。国際社会の安定に貢献できる民族はあなたの国なのです」

今、私たちがやらねばならないことは、「後から来る子どもたちが日本に誇りを持てる真実の歴史」を教えることです。素晴らしい日本を取り戻すために。

たびに高齢者の免許返納が取り沙汰される▼交通網が整備され、移動手段に事欠かない大都会であればさほど問題にならないだろうが、一日に数本しかバスが通らないような過疎地では、運転免許の有無は日常生活を維持する上で大問題となる。外出できにくくなり社会参加の機会が減ると、認知症や転倒のリスクが高くなるとも言われている▼運転免許を返納した高齢者の3割強が「家族等に勧められたとき」決然としたと答えています。家族の説得は功を奏するが、協力を忘れてはならない。余暇活動や買い物、通院、墓参り等々、動きたいときに家族のサポートがあれば不自由なく生活できる。加えてタクシーや宅配に係る特典の一層の充実や急発進防止装置装着の法的規制など社会全体で対応すべきことも山積している▼事故を起こした高齢者を批判するばかりでは、令和18年に65歳以上が三人に一人となる日本社会に突き付けられている課題の一つも解決

ぶきよ  
響

高齢運転者による交通事故が連日報道されている。操作不適等の人的要因で人の命が奪われる悲惨な事故も多い。その原因も多い。その

山を愛した男の顛末記



四國中央教育會  
會長  
石村 拓朗

趣味を尋ねられたら：「登山です」と答えることにして、いる。他に思い当たらぬいか。」の見栄でしかないが：。「18歳、東京都北区の陸上自衛隊某駐屯地内の隊舎と共に居住する先輩に誘われて、いきなり登つたのが「魔の山」、谷川岳」。誘いに一瞬たじろいだが、「5月の連休だから天候さえよければ大丈夫！」という甘言に乗つてしまつて同行を決めた。かの有名な、長いトンネル内にある「土合駅」で降りて、最もポピュラーな尾根道「天神尾根」を歩いた。積雪は部分的に4mもあつた。雪の白！空の青！芽吹きの新緑！一瞬にして山の虜になつてしまつた。それ以降、毎週のようになに通つた。「丹沢山」「雲取山」「大菩薩山」「白馬岳」「檜ヶ岳」「穂高岳」etcと。登山用グッズも次々に買い揃えた。お気に入りの店は東京神田の神保町にある登山用品専門店。数十万円はつぎ込んだ。その後、教員になるた

「好事、魔多し！」の格言を思い知らされたが、命をつないでいるありがたさを思はれていた。今となつては、かの山々はアルバムを飾り、良き思い出として鮮やかによみがえる。

今私は、『ピマラヤ』ならぬ『ウラヤマ』を目指して、お茶を濁している。私の人生、もう濁すことしかないのであるけれど、夢中になつて登つていた登山ブームのあの頃と山々には感謝しかない。時間だけはふんだんにある今、地元の低山へ『昔の若者』の孤高の単独行は続く。サイト！

めに自衛隊を退職するが、それ以後も山通いは続いた。私境と呼ばれた“平ヶ岳”、雲ノ平“裏銀座”、自慢していけないが、単独行が中心となつた。

とうとう深みにはまつてしまって、登山紀行家で有名な深田久弥さんが掲げる“日本百名山”にチャレンジする決意をした。順調に登頂を積み重ねたが、退職を半年に控えた時の“くも膜下出血”により死の淵をさまよう。ちょうど半数の50座で無念のリタニア：南アルプスの“甲斐駒ヶ岳”、“仙丈岳”を登り終え、次は“富士山”的に高い“北岳”を目指そうと意気込んで帰ってきたばかりの時だつた。まったく残念！ その後の弁でしかない。

「好事、魔多し！」の格言を思い知らされたが、命をつなぐものがあることを思い



本校がある伊方町三机は、江戸時代、宇和島藩の番所が置かれ、宇和島藩をはじめ九州の大名の参勤交代中継地となるなど、古くから栄えた地域です。三机小学校は、その番所跡に三机浦学校として開校され、令和5年に150周年を迎える歴史ある学校です。途中、他の4つの学校と統合し現在に至っています。多い時で400人を超えていた児童数は、現在22名まで減少していますが、児童は、地域の中でしっかりと学び続けられています。その中のいくつかの活動を紹介いたします。

**【全校さつまいも栽培】**

地域では、昔からさつまいも栽培が盛んに行われてお

令和3年は、太平洋戦争開戦から80年目の年。数多くのメディアで真珠湾攻撃が取り上げられました。その訓練場である三机湾。湾内の公園にある慰霊碑や訓練関係者が宿泊していた旅館など、数多くの平和学習教材があります。5・6年生は、そういった資料を基に、地域の方から詳しい説明を受けたり自分で調べたりしながら、平和の尊さを学んでいます。

**【他校とのオンライン授業】**

極小規模校が多く、各小学校が地理的に遠く離れている伊方町。県作成のパンフレットで紹介されたとおり、ICT環境が早くから整備されています。本校は、同じ中学校区内の大久小学校と連携し、

【他校とのオンライン授業

り、本校も地域の畑をお借りして、毎年栽培しています。保護者でもある農園経営者の方にご指導いただきながら、畝作りから収穫まで、高学年を中心に全校で取り組んでいます。秋には収穫祭を行い、立派に育ったさつまいもを使つて料理を作り、収穫の喜びを味わいます。農園からいただいた苗が育つてできたさつまいもの味は格別です。毎年、全校児童でお礼の手紙を書き、感謝の意を表しています。

卷之三

WEB会議ツールを使用したオンライン授業を全学年で進めています。中でも、デジタル学習ソフトを活用して、教材や両校児童の意見を各児童タブレットに反映し進めいく形態は、極小規模校が抱える「多様な意見を基に高め合う機会が少ない」という課題を解決する手段として、大きく期待できるのです。

今後も、地域の「ひと・こと・もの」を生かした教育を進めていきたいと思います。

学校紹介

No.226

伊方町立三机小学校

## 畠・ふすま張替えのご案内

愛媛県学校生活協同組合連合会では、  
(株) ライフネットと提携店契約を結んでおります。

面倒な置替え、ふすまの張り替えなどのご用命はお気軽に学校生協までご相談ください

お問い合わせは

愛媛県学校生活協同組合連合会  
電話(089) 925-0555  
または 郡市学校生活協同組合



## 自己実現



松山市小野小頭  
船岡 良雄

題字に寄せて

# みんなに背中を押されて ふるさとに生きる



越智マユミ 先生

訪問者 河本 哲

(西条市立西条西中学校教頭)

No.114

力的に取り組んでこられました。また、日本舞踊にも精通し、踊りでも地域ボランティアに貢献されています。現在も公民館活動の老人会による講座、昔の遊び、おたのもさん作り、しめ縄作りなど、地域の子どもたちのためにボランティア活動を続けられています。

アメリカ的心理学者カール・ロジャースによると、「自己実現」とは「人が自己の内に潜在している可能性を最大限に開発し実現して生きること」と定義されている。私が教師になつたのも自己実現のためではないかとふと思ひ返すことがある。人はそれぞれ持つて生まれたものは違  
うが、「できないことができ  
るようになりたい」「なりた  
い自分にもつと近づきたい」  
そんな思いで一生を過ごすの  
ではないだろうか。教師は、  
子どもたちに潜在するそのよ  
うな思いを見出し、育て、自  
己実現への手伝いをする仕事  
だと思っている。

令和3年の年末、数年に一度の寒波が愛媛県地方にも雪を降らせる中、飯岡のご自宅を訪問させて頂きました。越智マユミ先生はふるさと西条で活躍する教育会OBとして、多方面での活躍が顕著であるとお聞きしたからです。初対面であつた私に熱心に活動の様子をお話ししてくださいました。ありがとうございます。

二 地域貢献活動 定年退職後すぐに、退職女性の会に入会し、コーラスの担当を引き受け、同年の薦田富子先生と共にその後20年余り継続されました。会でのコーラスの練習の指導や、老人ホームの慰問活動などに精

地域の公民館活動など、様々なジャンルの会にも参加され、地域の人々との交流を楽しめています。特に、國田淑子先生がご指導された「読書会」に参加し、『源氏物語』の原文を読み解くことの感動を語られていました。運動好きで、ひうち体操にも取り組むなど多彩な趣味を楽しみながら行っています。俳句の会では、初心者として加入し、多くの仲間とともに俳句を楽しめています。

四 人との出会いと感謝 お話を伺いする中で、最も印象に残った言葉が「みんなに背中を押されて」という言葉です。この言葉は、精力的に多彩な方面で活躍し続ける秘訣は何かをお尋ねした時のお答えでした。頼まれたことを自分のできる範囲で一つ一つ精一杯続けていく間に、先生の周りには常に同じ志を持つ仲間が集まり、共に楽しめ継続されてきたのだと気付きました。

越智マユミ先生(84歳)  
(西条市飯岡在住)

### 一 小学校や幼稚園での教育

#### 活動

越智マユミ先生は、小学校教員時代は主に音楽専科教員として活動され、その後、県教育事務所・幼稚園に勤務されました。藤原武先生を団長とする西条少年合唱団の設立や指導にも関わり、音楽を中心とした活動をされていました。ご退職後も中国の児童との交流、大正琴の演奏会に参加し、海外でも幅広く



### 文教俳句

一俳句ポストより

お正月道後温泉修理中  
ガラス越しに見ゆる旅路や冬日和  
元朝や日輪包む大鳥居  
吹初や石笛古代の風を呼ぶ  
葉牡丹の花咲く日まで育てけり

宇和島市 浅田 裕士  
愛南町 中道 壮太  
松山市 池田 容子  
松山市 池田 容子  
三谷 美貴

秋舞台  
越智マユミ



特集  
心に残る先生・子ども・学校

メモリー 1984



四国中央教育会  
OB  
日浦 正文

1984年4月、私は初任の寒川小学校で2年目を迎えた。校門の桜が満開の中、最初の職員会で「6年竹組担任」と発表された。6松は、生徒指導のK先生。理科に堪能で、修繕作業や菊作りなどもプロ級の腕前だった。6梅は、学年主任のI先生。授業の達人、話術の天才。そして、うつとりするほどの美声との持ち主である。豊かな才能と人間味溢れるお二人の先生との思い出。

遠足は翠波峰（890m）へ。先発隊は6竹。私は、元気一杯の子どもたちを率いていつ目散に坂道を登つていった。歩けど歩けど目的地が見えてこない中、ふと気付いた。松組と梅組がいないと。健脚自慢のU君に後続の様子を見に行つてもらう。息を切らせて帰つて来た彼の口からは信じられない言葉が：「先生、松と梅は帰りました。」



新居浜教育会  
OB  
白石 繁行

## 我が心の師

補導の車（青パト）で学  
校の前を走る。「♪さくら並木坂の門」登りて仰ぐ山の  
峯：♪」校歌を口ずさみなが  
ら、翠波峰への遠足のこと、  
I先生の座右の銘を思い出  
す。「冬来たりなば春遠か  
らじ」：

慌てて弁当を詰め込み下山。I先生は、ゆつたりとにこやかに、「あまりにも遠かつたので途中で帰ったんよ。」とお言葉。卒業制作は、K先生のご指導のもと、銅板レリーフに挑戦した。畳1畳分程もある銅板に下絵を描き、金槌と釘を手に何日も打ち続けた。松組は、坂本龍馬像、竹組は、水泳特別練習、梅組は、さつまいもの収穫を題材にした。長い教員人生で、こんな立派な卒業制作はこの年だけだった。その作品は、今も寒川小学校の玄関で歴史の糸を紡いでいる。

先生は常に教育に対する強い信念をお持ちであつた。清濁併せのむ懷の広さと、肚の据わつた度量の大きさ、そして情の深さがいつも伝わってきた。当時は若い教職員が多く失敗も多々あつたが、細かなことは一切おつしやらず、知らない間に解決していくださつていたのを覚えている。よく伺つたのは「迷つたら生徒にとつて一番良い方を選ぶこと、常に生徒に寄り添うこと」の二つである。

そんな校長先生の下だからこそ、教職員は生き生きと教育活動に専念できた。部活動にも好成績を収めた。それ以上に挨拶や清掃等日常の生活態

早いもので退職してもう15年になる。今も思い出されるのは、若い頃仕えた校長先生のことである。先生は昭和60・61年度だけの勤務で退職された。たった2年間であつたが、最も薰陶を受けた校長先生である。

私はその時期と退職前の一  
度、この学校でお世話になつた。  
その間には様々な事があ  
った。

過疎の島旧き民家に新しき子ども自転車二台ありけり  
白鳥の来る池ひとり佇みて眩しきほどの羽撃きはいつ

松山市 門屋 泰輝  
宇和島市 薬師神由貴



今治市常盤小  
教諭  
明比 宏樹

あなたは、指導者に向いている

現在、母校である常盤小学校の教壇に立ち、素直で優しい子どもたちと楽しい学校物語を創ることができているのは、いつも温かい言葉をかけて励まし、背中を押してくれ方がたくさんいるからである。その中でも、倉永忠先生は私の人生に大きな影響を与えてくれた存在である。

あつた。卓球の技術指導以前に、挨拶、言葉遣い、時間を守ることなど人として大切な心を厳しく教え、諭していくだいた。「あなたは、指導者に向いている」。これは、チームのキヤปテンを務めていた時にかけていただいた、今でも忘られない言葉である。私は、この言葉を自信に教職を目指し、今は常盤HSクラブに指導者として携わつている。言葉が持つ力は偉大であり、人の生き方さえ大きく変える力があることを知った。「どういう選手に育てようとしているか明確なビジョンを持ち、日々の指導の中で子どもを見る目を肥やせ」。練習で隣に座る倉永先生の言葉の端々には、指導者として力をつけていく上で必要なヒントが宿つている。これからも子どもたちと接する上で、チームスローガンである「Never give up!」を指導の中で表現し、倉永先生に少しでも恩返しができるように努めしていくとともに、多くの方に応援され、地域の方から愛され続けるチームを目指して尽力していきたい。

心に残る先生



松山市姫山小  
教頭  
日野 伸介

本校区にお住まいであつた「今井道子先生」は、国語の先生で、私の中三時の学級担任でした。小柄な女性の先生でしたが、いつも凛とした立ち振る舞いの中に、優しさと厳しさを兼ね備えておられ

祝  
受章・受賞おめでとうござります

瑞宝双光章（高齡者叙勳）

伊出	高橋	裕様	博美様
兵頭	山下	昭様	88歳
近藤	山本	幸博様	元伊予市立郡中小学校長
結香様	英文様	88歳	元川之江市立金生第一小学校長
兵頭	88歳	元八幡浜市立江戸岡小学校長	元八幡浜市立江戸岡小学校長
弘様	元三間町立三間中学校長	元三間町立三間中学校長	元三間町立三間中学校長
東温市立重信中学校長	元新居浜市立川東中学校長	元新居浜市立川東中学校長	元新居浜市立川東中学校長

坪内道広様	坪内道広様
井出和宏様	井出和宏様
行元千景様	行元千景様
野澤美保様	野澤美保様
谷水由紀子様	谷水由紀子様
石橋範子様	石橋範子様
森川幸子様	森川幸子様
坂本伸也様	坂本伸也様
松山市立東中学校教職員一同様	松山市立東中学校教職員一同様
愛媛大学教育学部附属中学校主幹教諭	愛媛大学教育学部附属中学校主幹教諭
今治市立波止浜小学校教諭	今治市立波止浜小学校教諭
松山市立浮穴小学校教諭	松山市立浮穴小学校教諭
伊予市立郡中小学校栄養教諭	伊予市立郡中小学校栄養教諭
内子町立天神小学校教諭	内子町立天神小学校教諭
四国中央市立川之江南中学校主幹教諭	四国中央市立川之江南中学校主幹教諭
松山市立北条北中学校事務係長	松山市立北条北中学校事務係長
大洲市立大洲北中学校主幹教諭	大洲市立大洲北中学校主幹教諭

昭和54年4月、新採教員として砥部小学校へ赴任した。受持ちは5年竹組、32人の元気な子どもたち。この出会いから36年の教職人生がスタートした。



伊予教育会  
OB

田中 弘

5年竹組の子どもたち  
との出会いから

ばらしさを丁寧に教えてくださいました。

先生との触れ合いの中でも忘されることのできないのは、進路指導に関することです。教育相談の際に「日野君、高校に合格することは大事なことなんだけど、その後の人生をどう生きるか、ということの方がもつと大切なことですよ。」とかけていた言葉が今でも忘れられません。

また、その数日後、私が廊下を歩いていた友達を押し、窓ガラスを割ってしまった時は、自分の気の緩みを厳しく叱つていただきたことも、今となつてはよき思い出です。

4年半ほど前にご逝去の報をお聞きし、ご自宅に手を合わせにお伺いさせていただきました。心よりご冥福をお祈り申し上げます。

結婚が決まった時にはクラス会を開いてお祝いしてくれた。最後の勤務校となつた砥部中学校では、生徒の保護者として付き合つた。退職に際しては、妻と一緒に道後のホテルに招待され盛大に祝つてくれた。

退職して7年。「育てたつもりが、育てられ」と痛感している。彼らの住む砥部の地で余生を送ることができることただただ感謝である。

子どもたちとの泣き笑いの学校生活を送っている中でのある月曜日のこと。私は寝坊をして遅刻してしまった。月曜日には全校朝会がある。その日の放送当番が、こともあろうに我がクラスの放送委員。2階の放送室前の廊下にいた彼は私の遅刻現場を見ていた。

朝会後の朝の会で、「先生が遅刻してもかまんのか。」と子どもたちが騒ぎ出した。彼らの攻撃は収まる気配がない。月曜の朝からまいづたなといいながら、次のように反撃した。「君たちは毎朝、お家の人に起こしてもらい、作つてもらつた朝ごはんを食べて学校へ来ている。先生はそれを一人でしているんだ。それを見たことがそんなに悪い

- ★ えひめの先生方によって  
建てられた会館です。
- ★ 会議・研修・宿泊にご利用ください。



エスピワール  
愛媛文教会館

## 愛媛県教育会の 積立年金制度

老後の生活資金のために、

第十一章 常用统计分析方法与应用  
第十一章 常用统计分析方法与应用

公益財團法人 麥媛昌教育基金

公血財圓法人 夏媛宗教育公  
電話 089-945-8611

9-943-8844  
MY-CF-21-386-432388-220112-1

# 第51回全国小学校国語教育研究大会愛媛大会 第73回愛媛県国語教育研究大会を終えて

## 愛媛県教育研究協議会国語委員会

### はじめに：大会の趣旨

第51回全国小学校国語教育研究大会愛媛大会・第73回愛媛県国語教育研究大会が、令和3年11月16日(火)から30日(火)の間オンラインにて開催された。全国各地から約500人の参加があり、研究の成果を広く発信した。

大会主題は「確かに豊かな言葉の力を育む深い学びの実現－言葉による見方・考え方を働かせる授業づくりを通して」である。

コミュニケーションの在り方が多様化している今日、「確かに豊かな言葉の力」を育てることは国語科教育に求められる課題であり、これは愛教研国語委員会が研究し続けている課題でもある。本研究における「確かに豊かな言葉の力」とは、確かに理解・表現の背景にある知的活動の土台部分に、人間的なものの見方や考え方、人としての感情やしなやかな感性・感覚などの豊かさを含んだ言葉の力

である。

そこで、大会主題の実現に向けて、①「確かに豊かなことばの力を育む單元づくり」②「確かに豊かな言葉の力を育む授業づくり」③「育まれた「確かに豊かな言葉の力」をどう評価するか等の視点を設定し、会場校と連携しながら研究を進めた。

愛媛県が全国大会の開催地に決定したのは、令和元年である。大会までの準備期間は短かったが、会場校である松山市立味酒小学校と松山市立道後小学校の協力で研究を推進することができた。

しかし、新型コロナウイルス感染症が拡大を始めた時期に研究が始まり、更に一斉臨時休校の時期にも重なったため、授業をしたくてもできない、話合いをしたくても集まることができないというジレンマを抱えながら研究を進めることとなつた。また、参集型の研究大会を想定していたが、新型コロナウイルス感染

**松山市立味酒小学校の研究**  
味酒小では「読むこと」の領域、書写的な学習について研究を深めた。

○ 読みの系統表を作成し、指導の内容を明確にすることで、それまでに学んだ読み方を生かしながら内容を的確に読み取り、筆者の主張や作者の意図を理解できる児童が育つであろう。

○ 学習展開を工夫し、中心発問や話合い活動の場を効果的に取り入れ設定することで思考したことを主体的に表現できる児童が育つであろう。

○ 評価を工夫し、自己評価をしたり相互評価をしたりすることことで、自分の変容を見つかりして、それらを基に自覚できる児童が育つであろう。

これら3点を研究の仮説として、校内に三つのプロジェクトを立ち上げ、実践に取り組んでいた。〈授業プロジェクト〉では、児童の心に火をつけた。授業づくりを目指し、授業のUD化、対話的な学びの充実

症拡大の収束が見通せず、研究大会の在り方自体を大きく見直さなければならなくなったり、オンラインで開催することなつた。開催方法を探りながらの大会ではあつたが、たくさんの関係各位の支援を得て開催することができた。なかでも研究校の熱心な研究の取組を振り返りたい。

何を教えていくかを明確にするため「読みの系統指導カリキュラム」を作成した。当該学年で指導する内容を明確にすることで、分かる楽しさを実感することができる児童が増えている。〈言語環境プロジェクト〉では、児童が学んだ言葉をアウトプットする場として、「言葉の木」の掲示コーナーを設置した。また、オープン教室前に図書スペースを設け、教師がその時期に合った図書を準備し、単元に応じて並行読書に取り組めるようにして、児童自らが本に関わることができるようにした。(評価プロジェクト)では、指導と評価の一体化を目指して、「学びの足あとシート」を作成した。このシートを用いて「主体的に学習に取り組む態度」を評価したり、児童の「知識・技能」「思考・判断・表現」の成長を見

し、校内に研究3部会を立ち上げて具体的な実践に取り組んだ。〈授業改善部会〉では、児童の心に火をつけた。授業づくりを目指し、授業のUD化、対話的な学びの充実

きた。評価規準、評価方法、振り返りのポイント等を明示することで児童自身が学びの手応えを実感できるようにしている。

**松山市立道後小学校の研究**

道後小では「話すこと・聞くこと」「書くこと」の領域について研究を進めた。

○ 日常的に豊かな関わりを意識した言語環境を整えることで、心と言葉の響き合いを意識し、コミュニケーション力が向上するだろう。

○ もの・こと、人との対話的学習を中心に据え、児童にとつて魅力的な単元づくり・授業づくりをすることで主体的に表現できる児童が育つだろう。

○ ねらいに基づく学習評価や振り返りを工夫することで自己の変容や成長を認め、主体的に学習に向かう児童が育つだろう。

これら3点を研究の仮説として、校内に研究3部会を立ち上げて具体的な実践に取り組んだ。〈授業改善部会〉では、児童の心に火をつけた。授業づくりを目指し、授業のUD化、対話的な学びの充実

について研究を深めてきた。対話の時間を大切にした授業実践を積み重ねてきたこととで自分の思いや考えをしつかりもち、相手意識や目的意識をもつて伝え合う児童が育ってきた。〈言語環境部会〉では、語彙力の向上を目指した。図書室の整備やみきやん通帳などを活用した読書活動の推進や俳句づくりなどふるさと道後との豊かな関わりを促す活動を推進した。児童は、自主的に言葉を集めをしたり、俳句づくりに取り組んだりするなど言葉そのものと関わるようになつた。〈学習評価部会〉では、国語科授業における学習評価と振り返りを一層充実させようと児童の実態把握をしっかりと行い、単元を通じ目指す児童像を明確にした。また、「学びの振り返りシート」を作成して活用することで、児童の変容や成長を実感したり、教師の評価に生かしたりするなど、更なる授業改善に取り組んでいる。

### 研究大会の状況 授業公開（動画配信）

松山市立味酒小学校は「読むこと」領域における授業を

第3学年「絵文字の特長をとらえよう」では、全文シートや背面の掲示から、視覚的に言葉の意味を捉えることができるような指導の工夫が提案された。児童は、学習課題を自分事と捉え、言葉に向かい合っていた。

第6学年「道後物語大賞への道」では、話合いのツールとして、タブレットを活用し学習を進めていた。目的をしっかりとつけて編集会議が行われ、児童はよりよい物語にしていくために進んでアドバイスし合っていた。



松山市立道後小学校は、「話すこと・聞くこと」「書くこと」領域の授業を公開した。  
第1学年の「うさぎになつて、友達と話したり聞いたりしよう」では、話すことへの意欲を高める場の設定や教師からの言葉掛けにより、児童が話す・聞く活動に対しても楽しさを味わい、もっと話したい、相手のことをもつと知りたいという思いをもち、主体的に学ぶ姿が見られた。

第6学年「道後物語大賞への道」では、話合いのツールとして、タブレットを活用し学習を進めていた。目的をしっかりとつけて編集会議が行われ、児童はよりよい物語にしていくために進んでアドバイスし合っていた。

松山市立道後小学校は、「話すこと・聞くこと」「書くこと」領域の授業を公開した。  
第1学年の「うさぎになつて、友達と話したり聞いたりしよう」では、話すことへの意欲を高める場の設定や教師からの言葉掛けにより、児童が話す・聞く活動に対しても楽しさを味わい、もっと話したい、相手のことをもつと知りたいという思いをもち、主体的に学ぶ姿が見られた。

松山市立道後小学校は、「話すこと・聞くこと」「書くこと」領域の授業を公開した。  
第1学年の「うさぎになつて、友達と話したり聞いたりしよう」では、話すことへの意欲を高める場の設定や教師からの言葉掛けにより、児童が話す・聞く活動に対しても楽しさを味わい、もっと話したい、相手のことをもつと知りたいという思いをもち、主体的に学ぶ姿が見られた。

講話  
文部科学省初等中等教育局  
教育課程課教科調査官 大塚



### 終わりに

本大会では、オンラインを活用し愛媛から全国に研究成果を発信することができた。愛教研国語委員会の理論を基に研究を進め、会場校が地域に根ざした教材開発やタブレット端末の活用の工夫など、着実に研究を積み上げた実践を中心に行なった。全国各地の参加者と共に実践を中心に行なった。大会開催をご支援いただいた関係各位に心から感謝申し上げたい。

健太郎先生からは、「学習指導要領の趣旨を踏まえた授業改善に向けて」を演題として、これから授業づくりや評価をしていく上でのポイントを具体的にご指導いただいた。

